

2016年4月13日 東京医科大学は創立100周年を迎えます



東京医科大学

教職員
学 生
対 象

創立100周年記念講演

4月13日(水) 創立記念日 18:00開演
於 東京医科大学病院本館6階 臨床講堂

◇◆◇3キャンパステレビ中継◇◆◇

大学：第1校舎3階第1講堂

茨城：医療・福祉研究センター1階 多目的ホール 八王子：手術棟3階講堂

現役厚生労働大臣と白井理事長の話に耳を傾け、未来に向けこれからの10年、20年、わたしたちがなすべきことを改めて見つめ直す機会にしてください。

特別講演

塩崎恭久
厚生労働大臣



2035年、日本は健康先進国へ。
「保健医療2035と医療改革の展望」

急激な少子高齢化や医療技術の進歩など医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、20年後の2035年を見据えた我が国の保健医療政策ビジョンとその道筋を示すため、2015年6月に提言「保健医療2035」を発表した塩崎厚生労働大臣。

創立100年目の記念日となる4月13日にそんな塩崎恭久厚生労働大臣を本学にお迎えし、少子高齢化社会にわが国の保健医療システムがどう対応していくのかを伺います。

記念講演

白井正彦
理事長



「東京医科大学中長期計画
2016-2025」

次の100年へ向けて、「東京医科大学ビジョン2025」を発表します。新たに定めたミッション「患者とともに歩む医療人を育てる」を胸に教職員が一体となって、最高の医科大学となるべく、次の100年に向けて一緒に踏み出そうではありませんか。